

これが私の生きる道

キャリアナビゲーター便り 題字:北村友香(グラフィックアート科教員)

令和2年度 vol. 1
(1~3年生向け)

工芸高等学校
キャリアナビゲーター
大野和美

工芸生の皆さん、入学&進級おめでとうございます。工芸高校では、進路指導やキャリア教育に関する便りとして、「これが私の生きる道(キャリアナビゲーター便り)」を発行しています。よろしくお願いします！

特集 「名古屋市キャリアサポートアプリ」で

仕事理解・自己理解を深めよう

AppStoreで
ダウンロード



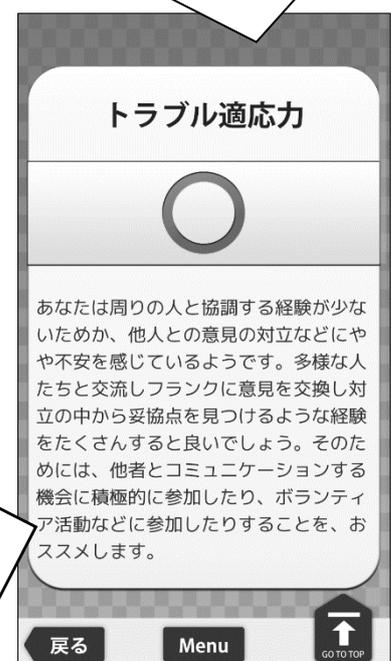
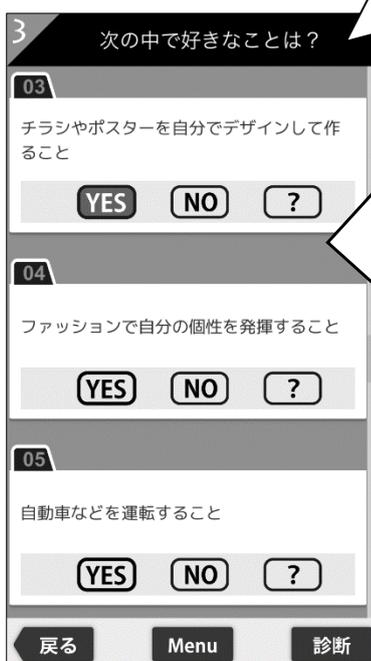
工芸高校に入学して、将来の進路について気になっている人も多いと思います。「自分が興味のある仕事は何だろう?」「人と関わるスキルはどれくらい身についている?」など気になる人は、『名古屋市キャリアサポートアプリ』で職業興味や社会的スキルをチェックしてみましょう。自分の違った一面が見えてくるかもしれません。

●自分を活かせる職業タイプ診断

仕事や趣味や性格に関する 60 の設問に答えると自分の特徴や職業の方向性、職業の具体例を知ることができます。(あくまで興味を探るもので、適性や能力を計るものではありません)

●社会的スキルの診断

日常の他者との関わりなどについての 18 の質問に答えると、自分の社会的スキルの評価ができます。また、その評価から今後のスキルアップのための助言も得ることができます。



※ 『キャリアサポートアプリ』は名古屋市が制作しているものです。2020年4月現在、Android版はありません。

※ 診断結果は絶対的なものではありません。参考程度に受け止めてください。

※ アプリがダウンロードできない・使えない場合は、進路指導室のキャリアナビゲーター(大野)をお尋ねください。

名古屋市子どもライフキャリアサポート事業からのお知らせ

保護者の皆様・児童生徒の皆さんへ

進学・進級おめでとうございます。市立の矢田小・植田東小・長良中・東星中・北高・工芸高の6校は2018年度から「名古屋市子どもライフキャリアサポートモデル事業」のモデル校として、各校に専属のキャリアナビゲーター（略称：キャリアナビ）が常勤しています。2020年度も引き続き、教職員ともに皆さんのライフキャリアサポートを応援させていただきますのでよろしくお願いいたします。本年度のキャリアナビゲーターを紹介しますので、皆さんの将来のことについての心配や質問したいことがあるとき、皆さんが将来、大人になって社会人としてイキイキと生きていくために必要な力をつけるためのヒントが欲しいときなど、いつでも・なんでも・気軽に声をかけてください。キャリアナビゲーターは授業のある日はいつも学内にいます。



工芸高校には、キャリアナビゲーターが常駐しています。

進路について相談したい方は、A棟1階の進路指導室にお越しください！

- ★自分の長所や強みは何？
- ★やりたいことがわからない
- ★「副業」ってどんな感じ？
- ★面接練習がしたい など…

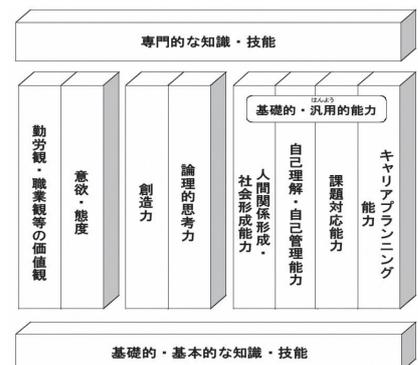
キャリアナビゲーター 大野和美(おおのかずみ)

20代の頃、アフリカの学校で働いていました。好きな野菜：ネギ

ライフキャリアサポート？キャリアナビゲーター？何をやるの？

保護者の方も、児童生徒の皆さんもそんな疑問をもたれているのではないのでしょうか？簡単に言えば、「児童生徒の皆さんが、将来、社会でイキイキと生きていくために必要な力をつける応援」です。

ライフ=人生、キャリア=その人が歩んできた、そして今後も歩む足跡のことです。「ライフキャリアサポート」は、今後どのような人生を生きていくのかを考え、そのために必要な生きる力を育む支援です。1990年代以降は社会の変化が早く・激しく・大きくなり、将来を予測することは困難となってきました。例えば、この3月に新型コロナウィルス対策で学校が臨時休業になったことも誰も予測していなかった出来事の一例です。しかし、現実にはウィルスが瞬間に世界中の人々の暮らしやビジネスに影響を与えました。その背景には人・モノ・情報の移動の活発化が影響しています。このような予測不可能なリスクを含めて、将来を予測する困難さが増す中で、変化に対して自ら主体的に対応して生きていく力をつけていくことの必要性が指摘されています。文部科学省は今後の社会を生きていくために必要な力の要素として2011年に「社会的・職業的自立、社会・職業への円滑な移行に必要な力」を示しました（右図）。本年度以降、小学校から順に適用される「新学習指導要領」でも図で示される力を育む「キャリア教育」のさらなる推進や新しい学習の在り方を示しています。ライフキャリアサポートは、図の「基礎的・汎用的能力」などを中心とした、社会的・職業的な自立に必要な力を育むサポートです。



引用：中教審答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」2011年